

## 4 電子商取引

あなたのおこなっている商取引形態は何でしょうか？ここで概要を勉強しましょう。このような知識を身に着けることで、関連書籍などを調べるきっかけになります。ぜひ、関連書籍を古本屋さんで買って読んでみてください。マーケティングの本などは、100円で売っています。それをヒントに1000円でも売り上げが上げれば儲けものです。

### ●電子商取引とは？

商取引とは「経済主体間での財の商業的移転にかかわる、受発注者間の物品、サービス、情報、金銭の交換」である。従来の商取引は、店舗や事務所を通じて行われてきたが、最近ではインターネット等のコンピューターネットワークを通じて商取引を行うケースが増えている。

これを電子商取引（**Electronic Commerce**、Eコマース、**Electronic Trading**）という。電子商取引とは、コンピューターネットワークによる商取引のことを指す。

### ●電子商取引の種類

#### ・B to B Business to Business

企業間または企業と政府間でおこなわれる電子商取引を指す。企業には個人事業者も含まれるが、購入が事業目的のケースを指す。

#### ・B to C Business to Consumer

企業と消費者との間でおこなわれる電子商取引を指す。ウェブサイトや専門アプリを介して消費者に商品やデジタルコンテンツを販売するネットショップが代表例である。「消費者の購入」とは、購入される商品が消費財であるとか、購入費用の負担者が個人である、という意味ではなく、個人使用を目的とした購入のことを意味する。たとえ消費財であっても、個人事業主が事業のために購入したもの（販売目的の在庫品や事業者所の備品）はBtoBに含まれる。なお、B to Cの電子商取引は、PCやTVモニターを通じてウェブサイトで行われる形態のほか、フィーチャーフォンやスマートフォン、タブレット型PC等による商取引（モバイルコマース）も含まれる。

#### ・C to C Consumer to Consumer

消費者間でおこなわれる電子商取引を指す。ウェブサイトで行うオンラインオークションが代表例である。

## 4 電子商取引

### ●電子商取引の規模

#### ・B to B

経済産業省の「平成 22 年度我が国情報経済社会における基盤整備報告書」で、電子商取引の規模をつかむことができる。

調査によると、日本における電子商取引の規模は 256 兆 3,100 億円となっている。商取引における EC の浸透度を示す指標「EC 化率」は、狭義で前年より 1.9 ポイント増と継続して伸びており、着実に電子商取引が浸透しつつある。

#### ・B to C

B to C の電子商取引は、2009 年の 6 兆 6,960 億円から、2010 年は 7 兆 7,880 億円と、前年比 16.3%の伸びを示した。

市場規模の大きなものとして、「情報通信業」（1 兆 9890 億円）、「総合小売業」（1 兆 6110 億円）がある。対前年比の伸びを見ると「医薬化粧品小売業」（138.7%）が前年同様の伸びを示し、次いで「衣料・アクセサリ小売業」が、前年比 130.2%と大きく成長した。

※参考文献「ネットショップ検定 公式テキスト」より一部抜粋

今回までの内容で、座学はおしまいです。次からは具体的なネットショップについて学んでいきます。しかしながら、お終いとはいえ、このような情報は頭の片隅に入れておいてください。仕入れ先の業者さんとの間で、このような会話から、楽天ショップなどの多店舗の情報を得ることもできます。楽天を始めたというお話を積極的に、仕入れ先の各業者さんにしてみてください。業者さんが「そういえば・・・」と話し始めたら有益な情報を得るチャンスです。こちらから聞けば割と「これがネットショップで売れてるらしい」と答えてくれたりします。さらには「あのお店は楽天を始めた。」ということが聞けたら「多く仕入れているものは何なのか？」を聞き出せれば、それが売れ筋商品という事にもなります。何とか情報を引き出して、自分にとって有利なことは全て真似してやっていきましょう。